

68号

令和2年
4月24日発行

いといがわ 議会だより

目次	Contents
委員会報告など	2～4P
一般質問	5～11P
議案の審議結果など	12～13P
次回定例会日程など	14P

4月1日開設した健康づくりセンター屋内温水プール

第1回定例会を開催～2月25日から3月23日まで～

本定例会では、条例関係、予算関係、人事案件などの市長提出議案61件、陳情1件、議員発議1件を審議しました。

本定例会における審議結果は、12・13ページをご覧ください。

●…… 議会の動き ……●

1月

- 16日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
- 21日 市民厚生常任委員会
- 23日 長野県諏訪市議会視察来市
- 24日 全員協議会
- 29日 石川県能美市議会視察来市
- 31日 新潟県市議会議長会春季定期総会(当市)

2月

- 4日 行財政調査特別委員会市外調査(5日)
- 5日 行財政調査特別委員会
- 7日 糸魚川地域第2種社会福祉法人理事長会
意見交換会
- 18日 議会運営委員会

- 20日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
- 25日 本会議(初日)
- 28日 議会運営委員会

3月

- 2日 本会議(一般質問)(3日、5日)
- 6日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
- 9日 市民厚生常任委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 建設産業常任委員会
- 12日 予算審査特別委員会(13日、16日、17日)
- 19日 議会運営委員会
- 23日 本会議(最終日)
- 26日 行財政調査特別委員会

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された条例の制定、補正予算などの案件について、3つの常任委員会で審査をし、議案は全て原案どおり可決し、陳情については1件を不採択としました。

総務文教常任委員会

条例の制定9件、補正予算2件、その他1件を審査しました。また、「第2期子ども・子育て支援事業計画（案）について」「陰山メソッドについて」「令和2年度行政改革実施計画（案）について」「第2期『糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定について」の所管事項調査を行っています。

建設産業常任委員会

条例の制定4件、補正予算2件、陳情1件、その他1件を審査しました。

市民厚生常任委員会

条例の制定6件、補正予算3件を審査しました。また、「次期ごみ処理施設の整備について」「第2次環境基本計画及び第2次一般廃棄物処理基本計画のパブリックコメントについて」「健康づくりセンタープールの整備について」「地域医療体制について」の所管事項調査を行っています。



ごみ処理施設と健康づくりセンタープールを視察

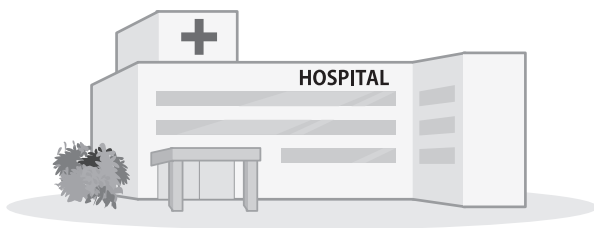
閉会中の所管事項調査

常任委員会が、定例会の会期以外の日に行う調査です。

市民厚生常任委員会

1月21日

- 健康増進施策の充実について



◇委員会協議会

市民厚生常任委員会では、1月21日に委員会協議会を開催し、糸魚川総合病院で、地域医療体制についての懇談を行いました。



糸魚川総合病院との懇談

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

2月18日

- 第1回市議会定例会の会期及び日程について
- 請願・陳情の付託について
- 特別委員会の設置について
- 委員長報告について
- 議会運営について

2月28日

- 議会運営について
- 大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会の開催について

3月19日

- 委員長報告について
- 議員発議について
- 閉会中の継続調査の申出について
- 6月定例会の会期及び日程（予定）について
- 議会運営について

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

予算審査特別委員会

令和2年度当初予算を可決

本定例会初日に予算審査特別委員会（議長を除く18人の議員で構成）を設置し、令和2年度の一般会計、特別会計7件及び企業会計4件の審査を行いました。予算案は全て原案どおり可決しました。定例会最終日の委員長報告（概要）は次のとおりです。



斉木 勇 委員長



古川 昇 副委員長



予算審査特別委員会の様子

総務費

糸魚川ジオパーク匠の里創生事業について質疑があり、根知地区において、作家としての自立や作品活動が一人前に達していない方々と地域が一緒になって地域づくりも併せて進めていくことを条件に入れてスタートした。今後は糸魚川や地域を体験して知っていただくことを中心に進めていき、エリアも広げていく必要がある。

しかし、助け合いながら地域づくりや作家活動を相互に支え合うという、取組の目的を再度明確にして、事業を進めていきたいと答弁がありました。

教育費

高校を核とした地域人材育成事業で、高校の魅力づくりについて質疑があり、学校・地域・市が協働で魅力づくりの議論を開始して、未来を生き抜く人材育成を基本に事業を進めていきたいと考えている。

地域や企業と関わりながら、知識技能だけではなく、思考力や判断力、表現力を身に付けていくような意欲を学ぶコンソーシアム※を立ち上げていきたいと答弁がありました。

※コンソーシアムとは…共通の目的のために結成する団体・企業などの連合。

※市議会のホームページで予算審査特別委員会の模様を録画配信しています。どうぞご覧ください。

行財政調査特別委員会

2月5日

- ・市外調査の集約について

3月26日

- ・糸魚川市財政の調査について
- ・少子高齢化と人口減少下の行財政運営について

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会

1月16日

- ・糸魚川市駅北復興まちづくり計画について
- ・市民・関係団体との連携について

2月20日

- ・糸魚川市駅北復興まちづくり計画について
- ・市民・関係団体との連携について

3月6日

- ・糸魚川市駅北復興まちづくり計画について
- ・市外調査について

◇委員会協議会

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会では、3月6日に委員会協議会を開催し、雁木の街並みとまち歩きについてとにぎわいの拠点に欲しい機能について、糸魚川本町通り商店街振興組合の皆様と懇談を行いました。



糸魚川本町通り商店街振興組合との懇談

市外調査報告

市の課題や先進事例を調査するため、多団体を視察しています。

行財政調査特別委員会（2月4日～5日）

○視察先

①愛知県豊橋市

○調査項目

A Iを活用した自立支援促進について（ケアマネージャーが行うケアプラン作成にA Iを導入）

○視察先

②石川県加賀市

○調査項目

R P A※について（効率的な行財政を目指し、I T技術を活用した業務の効率化）

※RPAとは…デスクワークを、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化するもの。



豊橋市での視察の様子

全員協議会

1月24日に全員協議会を開催し、議員定数について各会派や各議員の意見や考えを確認しました。

【全員協議会とは】………市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するために、議員全員が出席して開かれる会議です。

意見交換会

2月7日に糸魚川地域第2種社会福祉法人理事長会（私立保育園の理事長会）との意見交換会を開催しました。総務文教常任委員会の委員が出席し、情報共有や意見交換が行われました。

概要は次のとおりです。報告書は市議会ホームページに掲載しています。

意見交換会での主な発言（概要）

（1）私立保育園の支援について

理事長会から出された意見

- ・どの園も施設規模に応じて子供の受入れは可能。子供の数に対する保育士の確保が課題。
- ・保育士処遇について、都会と地方、公立と私立に差があるといえる。保育園の運営費は80～85％が人件費。人材確保には処遇改善が一番大事だと考える。

（2）公立保育園の民営化について

理事長会から出された意見

- ・公立保育園を民営化し、こども園化することにより市の負担はかなり減るはず。
- ・保育サービスも私立保育園のほうが行き届いていると感じる。
- ・近隣市でも民営化の動きは進んでいる。糸魚川市は方向性は持っているが、具体案がないと思う。議員にも公立保育園をどうしたいか聞きたい。

議員から出された意見

- ・どの分野においても、民営化すればサービスが向上するのが一般論。サービス向上のために公営、民営がお互い歩み寄って方向を見つけなければならない。
- ・民営化の方向に行かざるを得ないと考える。
- ・本来、保育は公的な形で行うべきものと考え。
- ・頂いた意見を施策に生かせるよう、市議会としてはもちろん、各議員個人でも研究していきたい。



意見交換会の様子

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



笠原 幸江 議員



質問

新型コロナウイルスについて

昨年12月以降、中国湖北省武漢市において新型コロナウイルスが発生し、終息する気配がない。

国内でも相次ぐ感染状況を見ると、いどこで感染したのか感染経路が難しくなっているのが現状である。

市の取組と窓口開設、危機管理体制、市内の医療体制と検査体制について伺う。

▼市長答弁

新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応に努めている。

なお、検査や医療体制の整備については、県が行っている。

また、市民の不安を払拭するためには、正しい知識の普及が大事であることから、ホームページや回覧で周知しているが、今後も引き続き情報の提供に努めていく。

質問

糸魚川シーサイドバレースキー場の平成28年度指定管理業務評価票について

記録的な暖冬少雪が続き、糸魚川シーサイドバレースキー場は1月31日に今季の営業休止が決定された。

深刻さが増している市内スキー場の現状と課題等について伺う。

(1) 糸魚川シーサイドバレースキー場の評価票で、評価委員の意見は次のように述べられている。

「自己評価がC評価(早急に改善対策を要するもの)になった以上、暖冬になった場合を想定した少雪対策案を始めとする今後の努力点や代替案を作成願いたい」と明記されている。これらの努力点や代替案の対策を取られているか伺う。

(2) 指定管理者の業務等の報告確認について

シャルマン火打スキー場及び糸魚川シーサイドバレースキー場の報告時期と業務及び経理の報告内容は、どのようになっているか伺う。

▼市長答弁

(1) 主にグリーンシーズンの利用者数を増やす取組として、大学等の合宿や各種イベント等の誘致、ドローンの代理店販売などに力を入れてきたところであり、ゲレンデや駐車場を活用した新しい取組についても、検討しているところである。

(2) 年度事業計画及び事業報告を年に1回、また、月例業務報告として入込数や経営状況などを翌月15日までに報告を受けているほか、必要に応じてヒアリングの実施や資料の提出を求めている。

一般質問



山本 剛 議員



質問

高校を核とした地域人材育成について

本年2月7日に地域や学校、企業等の関係者が集まり「第20回教育懇談会」が実施された。市内3高校からも参加し、学習成果の発表が行われた。

(1) 現在行われている「高校を核とした地域人材育成事業」について、市はその成果と今後の進め方について、どのように考えているか伺う。

(2) 「教育懇談会」の発表で、糸魚川から高校生がバスガイドをしてはとの提案があった。

自ら高校生に何ができるかという内容であり、この提案を実現させてあげたいと考えるが、市長としての見解を伺う。

▼教育長答弁

(1) 「特色ある教育の充実」に向けて、3校との連携がさらに強化されたほか、産学官で高校の魅力ある学びの実現について語り合う「対話と交流の場」を新たに設置するなど、一定の成果を得たものと捉えている。

今後は、地域との「対話」や「協働実践」を積み重ねながら、社会で活躍できる人材の育成に努めていく。

いく。

(2) 生徒の気持ちを大切に、提案の実現に向けて学校側と相談させていただいているところである。

質問

降雨災害に関する防災・避難等について

9月定例会の一般質問で避難について質問をさせていただいたが、地球温暖化による降雨災害が現実味を増す中、改めて質問させていただく。

(1) 昨年の台風19号での避難について伺う。

① 市が開設した避難所の数は、何箇所か。また、その避難所に避難した人数は、何人か。

② 避難所の開設に関わった市職員の人数は、時間は、費用は、どれだけか。

(2) 市内に設置してある河川の水位計について伺う。

① 市内に設置している水位計の状況は、どうなっているか。

② 今後、水位計を増設する計画はあるか。

▼市長答弁

(1) ① 市内20箇所に避難所を開設し、1,344人が避難した。

② 避難所開設・運営に関わった職員は67人、勤務時間は延べ1,230時間で、経費は358万円である。

(2) ① 国や県が管理する市内河川に、19箇所設置されている。

② 県管理河川で、危機管理型水位計を、6月の出水期までに4箇所、それ以降に更に2箇所、設置する予定である。



滝川 正義
議員



質問

危機管理対応について

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大への対応について
 - ①感染拡大の現状認識と市の対応について伺う。
 - ②感染が疑われる事例が出てきた場合、専門外来から入院治療まで一連の医療が市内で完結できるのか伺う。
- (2) 切迫活断層が引き起こす地震への対応について

糸魚川市は「糸魚川―静岡構造線断層帯(北部区間)」、「高田平野東縁断層帯」、「魚津断層帯」の3つの活断層に囲まれているが、これらによる地震対策はどのように考えているのか伺う。

▼市長答弁

- (1) ①新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応に努めている。
 - ②上越圏域内で専門外来から入院治療までを完結する体制が整っており、関係機関で情報共有している。
 - (2) 「地震防災マップ」を22年度に作成し、各家庭に配布している。
- また、公共施設の対策として耐震化を実施し、各家庭への対策として家具の転倒防止や住宅の耐震化の重要性を出前講座などで周知している。

質問

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- (1) 「総合戦略」の基本的な考え方等について

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方及びその背景について伺う。
- (2) 森林資源を活用した首都圏との連携事業について

連携事業として、首都圏の公共施設への木材利用や森林教育での連携を掲げているが、別のアイデアを出す必要があるのではないかと伺う。
- (3) 若者の移住促進について

ライフスタイルに着目した若者の移住促進を掲げているが、どのような具体的な手法を考えているのか伺う。

▼市長答弁

- (1) 国では首都圏への過度の人口集中を是正するため、平成27年度から取り組んでおり、当市においても人口減少対策と地域経済の活性化を図るため、引き続き第2期総合戦略を策定していく。
- (2) 当市の豊富な森林資源、新幹線によるアクセス面での強みを活かして、教育旅行や地場産材の利用促進につなげていきたいと考えている。
- (3) 市内で活躍する女性を中心とした移住者が、地域で生活する上での考え方や想いなどを発信し、それに共感する人が移住を具体的にイメージできるよう取り組んでいく。

その他の質問項目

○東京2020オリンピック・パラリンピックに関して



保坂 悟
議員



質問

バリアフリーの推進について

- (1) 車椅子やベビーカーの利用者支援について
 - ①飲食店等事業所のバリアフリー化支援の考えはあるか。
 - ②公共施設のバリアフリーの点検と改善を行う考えはあるか。
- (2) 高齢者等の買い物支援について
 - ①バス停などの待合所の環境整備を行う考えはあるか。
 - ②官民による買い物宅配サービスを行う考えはあるか。

▼市長答弁

- (1) ①令和2年度から障害者のための意思疎通用具の購入や、スロープ、手すりの整備などに対する助成制度を予定している。
- ②改善の必要なのは計画的に改修を行っていく。
- (2) ①乗継箇所での待合環境の整備について、関係者と協議を進めている。
- ②現在、市内の民間業者の協力のもと「まごころ宅配サービス」などを実施している。

質問

糸魚川市のまちづくりについて

- (1) SDGs（持続可能な開発目標）に取り組むまちづくりについて

「誰一人取り残さない」という理念のもと、教育・福祉・人権等を中心に各課で具体的な取組を行う計画や考えはあるか。

また、市として自然環境を守るための取組や計画や考えはあるか。
- (2) 行政改革と持続可能なまちづくりについて
 - ①AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、5G(第5世代移動通信システム)の導入で事務効率の向上を目指す考えはあるか。
 - ②内部統制や外部監査を具体的に進める考えはあるか。

▼市長答弁

- (1) 市の取組全てがSDGsにつながるものと考えており、次期総合計画などに位置付け、市民への普及・啓発にも積極的に取り組んでいきたいと考えている。
- (2) ①AIなど新たな技術を積極的に活用し、自動化や省力化を図ることで、より少ない職員で効率的に事務を進める必要があると考えている。
- ②内部監査の充実とともに、外部機関による業務診断を導入し、ミスの防止や業務の効率化を図っていく。

その他の質問項目

○安心・安全なまちづくりについて
○女性が輝くまちづくりについて



田中 立一
議員



質問

文化の振興と保存・活用について

(1) 国民文化祭の検証について

昨年秋、開催された「第34回国民文化祭」「第19回全国障害者芸術・文化祭」において、地域文化に様々な形で触れる機会を提供できたと報道されていた。

糸魚川市及びエリアにおいて開かれた多くの事業をどのように検証し、今後につなげるかについて伺う。

(2) 文化財保護法改正への対応について

文化財保護法が改正、施行され、間もなく1年を迎える。今回の改正は、市町村レベルでの民間団体との連携による文化財の保存・活用の推進を目的としたものと言われている。

今回の改正を受け、県との連携など取組について考えを伺う。

▼教育長答弁

- (1) 「文化芸術に親しみ楽しむ機会となった」という感想や、「子供たちが文化に触れる機会を増やしてほしい」というご意見が多くあり、今後の事業や運

営に生かしていく。

- (2) 県が現在策定中の文化財保存活用大綱を参考に、保存に喫緊の課題がある文化財について、所有者を含む地域等と協働し、個別計画を策定していきたいと考えている。

質問

糸魚川市の農業について

- (1) 台風19号による農業被害の影響と復旧状況について
 昨年の台風19号は、各地に大きな被害をもたらした。市内においても大きな被害を与えたが、水田や農道、用水、頭首工等の現状について伺う。
- (2) 今冬の記録的な少雪により、夏の水不足が懸念される。作期や耕作への農作物技術指導、用水やため池整備等、現時点における対応策についての考えを伺う。

▼市長答弁

- (1) 復旧工事を順次発注しており、春先からの耕作が可能となるよう、引き続き関係者と連携して対応していく。
- (2) 現在、水不足に備え、ため池のパトロールを実施しており、今後、気象条件等の状況把握に努めながら、関係者と連携し、水不足の対応に努めていく。

その他の質問項目

- テレワークの推進について
 ○動物愛護について

一般質問



田原 実
議員



質問

地域医療の現状と課題、8050問題、産婦人科確保への対応について

- (1) 糸魚川市が主催した地域医療フォーラム「8050問題を考える」の内容と成果について伺う。
- (2) 「ひきこもり」状態の人を社会問題としたり、就労と自立だけを成果とする支援から、その人その人が幸せに生きていくことに寄り添う支援へと、意識と対応を変えていく必要がある。糸魚川市のこれからの対応を伺う。
- (3) 人口減少の影響が最も心配される産婦人科の存続について、出生数、医療機関の現状と課題、市の施策と成果について伺う。

▼市長答弁

- (1) 260人の参加があり、ひきこもり状態の方たちへの支援について、正しい理解を広められたものと捉えている。
- (2) フォーラムに続き、広報でも、ひきこもりに関する特集を行ったところであり、ひきこもり状態にある方や家族を受け止める環境づくり、相談しやすい体制の構築に取り組んでいく。
- (3) 今年1月末現在の出生数は186人となっている。産婦人科医師の確保が課題となっているが、市内産

婦人科利用促進プロジェクトの取組が評価され、医師2人体制が維持されている。

質問

相馬御風顕彰と都市交流について

- (1) 平成28年3月の一般質問でも相馬御風顕彰を取り上げたが、4年間の相馬御風顕彰の動きと成果について伺う。
- (2) 奴奈川姫伝説やヒスイの再発見など、相馬御風の功績の紹介がまだまだ不足していると感じる。今後の取組について伺う。

▼教育長答弁

- (1) 御風宅の大改修や、御風の糸魚川帰住・良寛研究100年事業などの取組、更に、早稲田大学へのゆるキャラ訪問により、新たな周知ができたことなどを一定の成果として捉えている。
- (2) フォッサマグナミュージアムなどで紹介しており、今後も功績の周知に努めていく。

その他の質問項目

- 糸魚川駅を拠点とする観光戦略、鉄道ジオラマ、フォッサマグナミュージアム、谷村美術館、押上ヒスイ海岸、駅周辺飲食店等の活用と経済効果、HAKUBA VALLEYとの観光連携について



五十嵐健一郎 議員



質問

総合計画策定事業の取組について

- (1) 従来の総合計画における取組状況と目標設定項目の進捗状況及び問題点について伺う。
- (2) 策定スケジュールについて伺う。
- (3) 策定方針について、以下伺う。
 - ①位置付けと背景
 - ②基本方針（構成と計画の期間、策定の視点と策定作業期間）

▼市長答弁

- (1) 目標達成に向けおおむね順調に推移しているが、人口減少問題に関する指標などにおいて達成が困難なものも見られることから、引き続き、事業の推進に努めていく。
- (2) 令和2年度から令和3年度にかけて策定作業を予定している。
- (3) 人口減少問題を中心とした、諸課題を克服すべく、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念も取

り入れ、本市のまちづくりの基本指針となる最上位計画として策定する。なお、計画期間は4年度からの7年間とする予定である。

質問

第2期「糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点戦略事業（チャレンジ事業）について

- (1) 新たな全世代・全員活躍型の推進強化について、先進地自治体の取組を参考にはいかかが伺う。
- (2) 少子化対策（糸魚川で産み、育てるなど）の具体的な取組について伺う。
- (3) 稼ぐ地域産業を育てるまちづくり（リノベーションまちづくり、創業支援体制の強化）について、新たな取組について伺う。

▼市長答弁

- (1) 先進自治体等の取組も参考にしながら取り組んでいく。
- (2) 妊娠アシスト事業など妊娠・出産に係る環境整備や、こども医療費助成事業など子育て支援の取組を充実していく。
- (3) 創業塾やリノベーションスクール、創業支援制度等の成果を見ながら、地域産業を担う人材育成に取り組んでいく。



渡辺 重雄 議員



質問

市勢の現状と新たな未来社会 Society5.0※への対応について

- (1) 各種のランキングから見る糸魚川市の現状について全国各市町村の住みよさランキングなどに当市が上位にランクされているが、どのように捉え、分析しているか伺う。
- (2) 行政の仕組みと仕事の在り方について
各種の行政課題を解決するには、未来社会の機能を駆使しての行政運営が必要であるが、現状の仕事のあり方の改善、見直しなどについて伺う。
- (3) 未来社会Society5.0への具体的な対応について
社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、生き活きと快適に暮らすことのできる社会、Society5.0の国の目標に対し、どのように捉え、進めようとしているか伺う。

▼市長答弁

- (1) 一概に言えない部分はあると承知しているが、これまで取り組んできた成果が表れているものと考えている。
- (2) AIやRPAなど新たなデジタル技術を積極的に活用し、自動化や省力化を図ることで、より少ない

職員で効率的に事務を進める必要があると考えている。

- (3) 官民それぞれで進めていく内容だと認識しているが、市として技術革新により市民生活が豊かになることについては、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

質問

市民憲章、各種宣言の役割と推進について

- (1) 市民憲章について
市民の身近な存在として、市民の心構え、心のよりどころとなる市民憲章にまで成長しているのかどうか、今後の活用や普及の方法について伺う。
- (2) その他の各種宣言や活動について
合併後、糸魚川市平和都市宣言、糸魚川地酒で乾杯宣言など宣言されているが、宣言によりどのような効果が生まれ、市民に定着しているか伺う。

▼市長答弁

- (1) 市民憲章は、当市にとって大変大切なものであり、先人が築き上げた郷土を更に発展させるため、市の行事等での唱和や、次世代を担う子供達への普及活動を通じて、みんなに愛される住みよいまちづくりを目指していく。
- (2) 平和の尊さを実感したり、地酒の良さを再認識したりと一定の効果があったものと認識しており、今後もそれぞれの宣言の理念が更に深まっていくよう、市民の皆さんと共に進めていく。



佐藤 孝 議員



質問

働き方改革について

(1) 会計年度任用職員について

- ①任用に当たって初任給の格付け、昇給について伺う。
- ②再度の任用については、どうなっているか伺う。
- ③総務省マニュアルには「公務の運営においては、任期の定めのない常勤職員を中心とするという原則を前提とすべき」と書かれている。会計年度任用職員制度の施行に当たって、このことが検討されたか伺う。
- ④平成30年度の12月定例会において、市長は、会計年度任用職員への移行時に、「臨時職員の給与を下げて諸手当で調整するようなことは考えていない」と答弁したが、そのことがどこに生かされているか伺う。

▼市長答弁

- (1) ①職務の内容に応じ、設定しており、昇給については、現在検討している。

②毎年、人事評価を行いながら、判断することとなる。

③基本は常勤職員の補助的業務を行う職員として、会計年度任用職員を任用していく。

④令和元年度の給与を下回らないように準備を進めている。

質問

持続可能な糸魚川市について

- (1) 老年人口指数について、日本は農村部、都市部も世界第一位である（国際統計格付センター）。糸魚川市ではどのような状態か伺う。
- (2) 男性の年収と既婚率には明らかに関連があることが知られている。低年収が家庭を持てない原因の一つと思うがいかがか。
- (3) 日本は2000年以降、賃金の上昇は見られず、大企業の内部留保が増えるばかりであった。この20年が国民・市民の再生産の行き詰まりを決定的にしたと思うがいかがか。

▼市長答弁

- (1) 2015年国勢調査ベースで71.28%となっている。
- (2) 個人の価値観など様々な原因があると考えている。
- (3) 市税概要では、賃金は上昇しているものと考えている。

一般質問



新保 峰孝 議員



質問

地球温暖化と糸魚川市の対策について

- (1) これまでの暖冬少雪年には、稲作にどのような影響があったか調べているか。
- (2) ごみ処理施設におけるCO2削減対策や、資源再利用のためのごみ分別収集の取組はどうか。
- (3) スキー場の営業期間も短くなっていると思うが、2つのスキー場に対する抜本的対策をとるべきではないか。

▼市長答弁

- (1) 平成21年の暖冬少雪の際には、5月までの少雨が重なり、一部区域において、水不足により耕作に支障が出ている。
- (2) 現施設より燃料や電力を抑えることにより、二酸化炭素排出削減に取り組んでいく。
また、リサイクル可能な資源物を分別して回収できるように周知していく。
- (3) 冬季観光の拠点であるとともに、地域振興や健康増進等に寄与する施設であると考えており、引き続き、グリーンシーズンを含めた利用者の確保に努めていく。

質問

健康づくりと国民健康保険税軽減について

- (1) 当市の死亡原因について「がん」「脳血管疾患」「心疾患」が約半数を占めている。
これまでの取組を踏まえた現状と課題、また早期発見・早期治療に結び付く特定健診等の受診率の推移について、どのように考えているか。
- (2) 生活習慣病と食生活は、密接に関連していると思うが、適切な食習慣の普及啓発、地元食材の活用推進は図られているか。
- (3) 健康づくり先進地で取り組んでいるウォーキングによる健康づくりの取組を行う考えはないか。
- (4) 健康づくりの取組を強化し、医療費を減らすことで均等割をなくす等、国民健康保険税の引下げを図るべきではないか。

▼市長答弁

- (1) 特定健診の受診率は年々向上しているが、今後も引き続き、受診率向上と生活習慣病や重症化予防に取り組んでいく。
- (2) 生活習慣病を予防するため、健診結果等から自分に合った食事について指導を行っている。
- (3) 市の運動教室でのプログラムにも含まれており、今後も普及啓発に努めていく。
- (4) 均等割廃止については考えていないが、本定例会において税率改定の提案をさせていただいており、加入者の負担軽減を図っていく。



松尾 徹郎
議員



質問

教育委員会における現状と課題

子供を取り巻く急激な環境変化の中、危惧される点は、今まで以上の知識偏重の学力観や受験戦争の過熱化だけでなく、いじめや不登校問題の深刻化、青少年の非行問題、家庭内における新たな社会問題など、憂慮すべき事態が生じているだけに、教育現場における教職員の負担も大きいと思う。そこで伺う。

- (1) 家庭内教育の重要性はもちろんだが、幼児教育を始め、市内小・中学校における教育現場では、どのような課題や問題点があるのか、現状について伺う。
- (2) 最近、市内の各小・中学校におけるスポーツの活躍をよく耳にするが、少子化による児童・生徒数の減少によりスポーツクラブ数の減少、それにより、やりたいスポーツができず、限られたスポーツの中からクラブを選ばざるを得ない子供たちの不満、また、一部のスポーツを除き、クラブ指導における有能な指導者を求めたいとの意見をよく聞く。さらに教師の負担軽減なども指摘されているが、この点について、どのように

考えているか伺う。

- (3) 教育委員会全体を通して直面している課題について伺う。

▼教育長答弁

- (1) 学力向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成にとって不可欠な子供の心と体の健康が課題となっている。具体的には、集団活動への不適応や生活リズムの乱れによる体調不良などが挙げられる。
- (2) 現在、市内4中学校の運動部のうち、6つの部には県スポーツエキスパート活用事業による外部指導員が派遣され、指導に当たっている。
今後の生徒数の推移やスポーツ種目に対する生徒の希望、指導員の確保の状況等に応じて、学校と社会体育団体、教育委員会が連携して、スポーツの機会確保に努めていく。
- (3) 近年、特別支援学級及び支援を必要とする通常学級の在籍者が増えており、就学前の段階から特別支援に関する相談や対応が課題となっている。



東野 恭行
議員



質問

空き家等の利活用について

- (1) 糸魚川市空家等対策計画策定後の糸魚川市における「空き家等」の固定資産税・都市計画税の税収は。
- (2) 平成27年5月26日に施行された「空家等対策特措法」施行後、糸魚川市における効果と反響は。
- (3) 空き家、空き地を相続や管理することができなくなった場合の市の考えは。
- (4) 今後空き家等を増やさないための循環イメージはあるか。

▼市長答弁

- (1) 平成27年度の空き家調査で把握している家屋の今年度の額は約20万円となっている。
- (2) 国の法律に基づいた対応が可能になったことと考えている。
- (3) 相続放棄をされても管理責任が残ることから、早めに活用を検討していただきたいと考えている。
- (4) 空き家等の現状把握や所有者の意向確認等を行う中で、空き家バンクへの登録を促すとともに、空き家等の家財道具処分費やUIターン者に対して改修費を支援するなど、引き続き有効活用に取り組んでいく。

質問

糸魚川市駅北復興まちづくり計画について

- (1) 無電柱化工事における本町通り商店街への影響は。売上減少の対策に対して支援の検討はあるか。
- (2) 糸魚川広域商店街における「住宅・店舗リフォーム補助金」事業の実績と広報の方法について。今後継続の見通しは。
- (3) 令和2年4月1日にオープンした「キターレ」。災害などの有事の際にはどのような機能を発揮するとお考えか。
- (4) キターレの運営と、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」の関連性について。

▼市長答弁

- (1) 大火以来、魅力ある街並みを実現するため、事前に説明し意見をお聴きする中で施工を進めており、今後も影響を軽減できるよう努めていく。
- (2) 糸魚川広域商店街は店舗2件、住宅2件となっている。周知方法は、おしらせばんや、市ホームページに情報を掲載したほか、業者説明会を開催している。
なお、この補助金は市単独の経済対策として実施したもので、今後必要に応じて実施を検討していく。
- (3) 指定緊急避難場所として活用していく。
- (4) キターレが世代を超えて交流する場となり、生き生きと活動が育まれる場となるよう運営に努めていく。



古川 昇 議員



質問

聴覚障害について

加齢により聴力が衰えて聴覚障害を発症する傾向がある。早めの気づきと対応、予防への取組が重要である。

- (1) 高齢に伴う難聴者の調査では何人くらいと把握しているか伺う。
- (2) 認知症疾患につながるリスクに難聴によることが指摘されているが、どのように捉えているか伺う。
また、閉じこもりや地域活動参加に消極的な原因として聴覚障害が関連しているのではないかと考えるが、どう捉えているか伺う。
- (3) 障害者手帳を持っていない難聴者への補聴器購入助成は考えているか伺う。

▼市長答弁

- (1) 高齢に伴う難聴者の調査は行っていないが、学術研究による試算では、軽度も含め70歳以上の半数と言われている。
- (2) 難聴が認知症や閉じこもりの要因の一つであると捉えている。

- (3) 助成対象者の要件などの課題があるが、今後検討していく。

質問

障害者支援について

社会のバリアフリー化の推進では、物理的バリアと心のバリアの両面にわたり強力に推進するとされている。

- (1) 移動等の円滑化を図る方針の考えと、環境整備への進め方について伺う。
- (2) 点字ブロックの補修や敷設について、整備検討事項となっていた箇所の現状と、今後の予定を伺う。
- (3) 音響式信号機の設置について、新たに設置した場所や今後の予定はどうか伺う。

▼市長答弁

- (1) 円滑な移動空間の整備や、全ての人々がお互いに理解を深め、支え合う、心のバリアフリー推進を基本方針にしたいと考えている。
- (2) 今年度の施工箇所は3月中旬に完了予定となっており、来年度以降も、計画的な整備に努めていく。
- (3) 県が設置しており、昨年度は大和川地内に、今年度は上刈地内に設置した。今後の予定は、未定と聞いている。

その他の質問項目

- 地域支援環境対策について



吉岡 静夫 議員



質問

身の回り、「高齢化社会へ」

私、もうすぐ84歳。今、まさに私たち「転げ上がる勢い」での「高齢化社会」に置かれている。だからこそ私たち、目指すべきは、いや、目指さねばならないのは、どんなに弱い立場に置かれようが、誰もが安心して堂々と年寄りになっていけるまちづくりだ—と、わが身をもって訴え続けさせてもらっている。

「オカミ・行政」の力は、「タミ・市民」のそれとは比べようもないくらいに大きい。情報収集・発信力しかり、財源収集・執行力しかり。が、これとてそれなりの力を市民（タミ）が行政（オカミ）に与え、託しているということ。両者・双方、そここのところを考え合う。それがあってこそその「高齢者対応・高齢社会化構築」である。

▼市長答弁

市民の誰もが住み慣れた地域でいつまでも健康で生きがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、引き続き行政運営を進めていく。

質問

柵口温泉、「権現荘」

「柵口温泉事業特別会計」という市の予算・決算名での議会審議の場が最後となったのが2016（平成28）年3月・2017（平成29）年9月。本件については問題がありすぎ。たとえば2016（平成28）年9月定例会での「権現荘事業における行政責任を問う決議なる発議案」。結果は、賛成7・反対11で否決だった。内容は至極当然のこと「度重なる不祥事を教訓とせず、放漫経営を続けてきたことに猛省を促し、責任を明確に」というもの。

私、いまでも根気よく主張し続けている。

「市・オカミ」の責任—行政執行の在り方こそが問われる。市長はもちろん、関係者は相応の責任を自覚すべき、負うべき。根っこ—「弱い立場の市民一人ひとりの健康・福祉のため」という基本理念からあまりにもかけ離れたリニューアル路線への道をつたったことが「今」を生んでしまった。

▼市長答弁

直営時の反省を踏まえ、権現荘の設置目的である、地域住民の福祉及び都市と農村、農山村の交流促進に向けて、指定管理者と取組を進めていく。

その他の質問項目

- 「姫川病院」、このままで
- 「弱者」をこそ「市政」に
- 二元代表の一方、「市議」の数

議 案 の 審 議 結 果

第 1 回定例会（2 月 25 日～ 3 月 23 日）

番号等	件 名	結 果
1	令和 2 年度糸魚川市一般会計予算	可決
2	令和 2 年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計予算	可決
3	令和 2 年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計予算	可決
4	令和 2 年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計予算	可決
5	令和 2 年度糸魚川市介護保険事業特別会計予算	可決
6	令和 2 年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計予算	可決
7	令和 2 年度糸魚川市学校給食特別会計予算	可決
8	令和 2 年度糸魚川市集合支払特別会計予算	可決
9	令和 2 年度糸魚川市ガス事業会計予算	可決
10	令和 2 年度糸魚川市水道事業会計予算	可決
11	令和 2 年度糸魚川市簡易水道事業会計予算	可決
12	令和 2 年度糸魚川市下水道事業会計予算	可決
13	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
14	糸魚川市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
15	糸魚川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
16	糸魚川市基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
17	糸魚川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
18	糸魚川市理科教育センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
19	糸魚川市青海屋内水泳プール条例を廃止する条例の制定について	可決
20	糸魚川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
21	糸魚川市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
22	辺地に係る総合整備計画の変更について	可決
23	糸魚川市中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について	可決
24	糸魚川市農林水産事業に関する分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
25	糸魚川市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
26	糸魚川市民公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
27	公有水面埋立ての免許の出願に関し意見を述べることにについて	可決
28	糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
29	糸魚川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
30	糸魚川市墓地条例の一部を改正する条例の制定について	可決
31	糸魚川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
32	糸魚川市高齢者共同住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
33	糸魚川市障害者地域活動支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
34	令和元年度糸魚川市一般会計補正予算（第 5 号）	可決
35	令和元年度糸魚川市学校給食特別会計補正予算（第 1 号）	可決
36	令和元年度糸魚川市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決
37	令和元年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決

番号等	件名	結果
38	令和元年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
39	教育委員会委員の任命について	同意
40	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
41	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
42	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
43	農業委員会委員の任命について	同意
44	農業委員会委員の任命について	同意
45	農業委員会委員の任命について	同意
46	農業委員会委員の任命について	同意
47	農業委員会委員の任命について	同意
48	農業委員会委員の任命について	同意
49	農業委員会委員の任命について	同意
50	農業委員会委員の任命について	同意
51	農業委員会委員の任命について	同意
52	農業委員会委員の任命について	同意
53	農業委員会委員の任命について	同意
54	農業委員会委員の任命について	同意
55	農業委員会委員の任命について	同意
56	農業委員会委員の任命について	同意
57	農業委員会委員の任命について	同意
58	農業委員会委員の任命について	同意
59	農業委員会委員の任命について	同意
60	農業委員会委員の任命について	同意
61	農業委員会委員の任命について	同意
陳情1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択
発議1	糸魚川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決

人事案件

各種委員の選任等について市長から同意や意見を求められたものに対して、議会で審議し、同意します。

教育委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

薮本 修一さん(田海・再任)
任期 令和2年5月20日から4年間

固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

小田島 澄恵さん(新鉄・再任)
村井 康さん(能生・新任)
山岸 洋一さん(寺地・新任)
任期 令和2年5月19日から3年間

農業委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

齊藤 健一郎さん(東海・新任)	福田 幸生さん(百川・再任)
片山 敏隆さん(谷根・再任)	井上 二郎さん(能生・再任)
大島 博さん(中野・再任)	齋藤 登さん(指塩・新任)
恩田 正平さん(大平・新任)	稲葉 淳一さん(模・新任)
園田 岳彦さん(厚田・再任)	齋藤 清美さん(須川・再任)
松澤 一久さん(田中・再任)	川合 次夫さん(鬼舞・再任)
米原 文明さん(寺島・再任)	川内 敏夫さん(須沢・再任)
荻野 輝道さん(大野・再任)	松澤 隆一さん(上路・新任)
鷺澤 茂雄さん(大谷内・再任)	樋口 佐登子さん(中浜・再任)
伊藤 真一さん(山寺・再任)	任期 令和2年7月20日から3年間

発議

議員発議により、現在20人の議員定数を、次回の市議会議員選挙から「18人に改める」という条例改正案が提出され、中村議長を除く18人による記名投票の結果、賛成多数で可決されました。

賛成 11票				反対 7票			
東野 恭行	斉木 勇	平澤 惣一郎	高澤 公	山本 剛	渡辺 重雄	滝川 正義	田中 立一
吉川 慶一	松尾 徹郎	佐藤 孝	古川 昇	田原 実	五十嵐 健一郎	新保 峰孝	
保坂 悟	吉岡 静夫			笠原 幸江			



議場での投票の様子

新潟県市議会議長会春季定期総会

1月31日に新潟県市議会議長会春季定期総会が糸魚川市を会場に開催されました。この会は、県内各市の発展と意思疎通を図ることを目的として、北信越市議会議長会へ提案する事項等について審議するため、年2回開催しています。



春季定期総会の議長を務める中村議長

議会を傍聴 しませんか

次回定例会日程

6月市議会定例会の会期及び日程(予定)

6月 8日(月)	本会議(議案説明・委員会付託等)
11日(木)	議会運営委員会
12日(金)	本会議 一般質問
15日(月)	本会議 一般質問
16日(火)	本会議 一般質問
17日(水)	本会議 一般質問
18日(木)	総務文教常任委員会
19日(金)	建設産業常任委員会
22日(月)	市民厚生常任委員会
24日(水)	議会運営委員会
25日(木)	本会議(委員長報告・質疑・採決等)

- 通常、本会議は6階議場、委員会は5階委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。庁舎東側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。
- 議場、委員会室入口には傍聴時の注意事項を掲示してありますので、傍聴前にご一読ください。
- 席数は議場54席、委員会室8席と制限があります。団体が傍聴希望の場合、事前にお問合せください。

※6月定例会で議題とする請願・陳情は、5月29日(金)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。

市議会のホームページで、本会議の中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。インターネットに接続したパソコン(インターネットエクスプローラー対応)で視聴できます。

なお、平成30年6月市議会定例会以降の映像は、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。

また、ホームページでは本会議の会議録も掲載しています。ご覧ください。

